

笑顔 団結 思いやり～人間力を大切にした学年へ～

SHINRYOKU ～伸 緑
伸 力～

明石市立朝霧中学校

第2学年 学年通信

平成30年 9月14日

第24号

いよいよ明日体育大会本番です。

前例をみないくらい台風や雨に悩まされた体育大会の取り組みが終わろうとしています。予行を終え、最後のマ스ゲームを終え、後は本番を残すのみです。

今の伸緑たちの心構えはどうでしょうか。

去年は初めてのことでよくわからないまま精一杯のソーランを披露し、初々しくも力強い演技にギャラリーの大拍手を頂きましたね。また、学年種目やりリレーも自分のクラスの声援を背負い駆け抜けました。

さて、今年はどんな体育大会になるでしょう。何度も言うように「去年よりレベルアップした体育大会」になりそうでしょうか。また、先輩を支える、1年生の手本となる、といった「中堅」としての動きができそうでしょうか？

各クラス、優勝を目指して頑張るのはもちろんそうなのですが、私は、『細部』にこだわりたい。風紀アウト0はもちろんのこと（予行で初めて達成されました。ええんか悪いんかわからん！）。たとえ体育が苦手でも頑張れる掛け声。行進の最優秀賞は、ぜひ2年生も狙って欲しい。開閉会式の時の動きの一つ一つや校歌の声。そんな部分にこだわりを見せてほしい。

また、一生懸命に係の仕事をして感謝されること、仲間への温かい励まし、競技への拍手や声援といった、仲間との小さな繋がりを育ててほしい。それが48回生の平成30年度の体育大会の物語になります。今の仲間とだけの1回だけの体育大会の記憶です。そして、それを聞かせてもらえれば私にとってそれは何より素晴らしい体育大会です。

正直な所、私の中では毎年、優勝の記憶はあまり残りません。ただ、1年〇組ではこんな「ええ話」があった、去年〇〇くんはこんな「ええ顔」して頑張っていたよね、といった小さなエピソードだけが語り継がれる伝説のように残っていきます。



今年もそんな物語を、「自分のクラスだけ」の、「伸緑たちだけ」の、「平成30年度だけ」の、物語を一つでも二つでも作って下さいね。そうやって重ねることで、演技に思い入れができ、次第に「熱」を帯び、「魂」が入り、見ている人だけでなく、演技している自分たち自身の「感動」や「達成感」に繋がるのです。それが、本当の「ええ体育大会」なのではないでしょうか。優勝や準優勝はいわば、おまけなのです。

さあ、心構えはできましたか。本番を迎え、ひとりひとりが舞台を築く大切なひとりとしてしっかり取り組みましょう。



取組の一コマ
当日はどんな
ドラマがみられ
るのかな。
みんなの活躍が
楽しみです！

【予行を終えての確認事項】 本番はもっとよくなるように心に留めておきましょう。

- ① 入場行進…まだまだ行進で頑張れます！元気よく行うこと。横の列も意識しましょう。
- ② 開会式……・昨日、書いてもらったアンケートを見ると、「校歌」を一生懸命歌えていない人が128名もいたようです。それじゃダメだ！
・指揮台上がっている人が降りた時の「休め」のタイミングがずれる人がいます。また、校歌の後は、元に戻る、休めの動き。
・退場は2クラス毎。退場後ブラカードは退場門の後ろのバケツに片づける。
- ③ 障害物……・たすきはしっかりかける。失格クラスがありました。
・ハードルは倒れても、上部がとれてもやり直しを。
- ④ リレー……・バトンを渡した後、すぐに内側に入ろうとする人がいました。進路妨害になるので注意。
・フライングについては、1回目があったらスタートやり直し。
2回目の人（本人が1回目でも）その人は2m後ろからスタートになる。
- ⑤ 綱引き……旗が綱に引っかった時点で終了。2本目はピストルが鳴るので終わるように。1本目は前の人や担任の先生が後ろに知らせる。
- ⑥ 2,3年女子マゲーム…手拍子ありがとうございました。ただ、始めるとやめられなくなるので、なくてかまいません。しっかり観覧して下さい。
- ⑦ 中西先生から…ケガが懸念されます。リレー前にはストレッチ等をして走る。また、水分不足による肉離れもあるので、水分補給を十分にしましょう。